

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



すてきな花壇ができました!

附属幼稚園は建物は少し古いけど、四季折々様々な木々がや花々が溢れるすてきな幼稚園・・・そんなイメージはいかがでしょう？

この度、正面玄関の両脇に後援会のご支援を頂き、花壇を整備しました。これまでの花壇はやや浅く、年中さんのヒマワリが育ちにくいなどの様子が見られましたので、思い切って高さのある花壇を新設しました。おしゃれな煉瓦にして花が引き立つようにしました。

早速、年中さんが春に咲く球根を植えました。スイセン、アネモネ、チューリップの中から自分で選んで植えています。そして、空いたところは、ノースポールやサクラソウなどを植えて卒園入園の季節を華やかに迎えたいと思います。



年中さん、春にきれいなお花が咲くように、しっかりお世話をしましょうね!!

皆さん、お楽しみに!

準備



試行



本番

みんな「アフリカンサファリ」へバス遠足に行つたことを契機に、年長さんの「サファリごっこ」への心の火はあつという間に燃え上がりました。グループをつくり、イメージを摺り合わせながら分擔し、力を合わせて製作するのはとても難しいことです。年下の友だちや一年生などの交流相手には「楽しんでほしい!」と一生懸命に考えていました。準備↓試行↓本番の3つのステップを丁寧な踏みこみで、「自分たちで」やり遂げた満足感は一層強く得られます。来年度スタートの新幼稚園教育要領には、「5歳の終わりまでに育って欲しい十の姿」が示されましたが、それらの姿は、このような活動を通して豊かに育っていくのだと思えました。

年長さん!大プロジェクトに挑む!

カマキリが横断しています!

不審者対応の避難訓練が終わった日の午後、正門の守衛室から連絡が入りました。

「今、カマキリが道路を横断して(幼稚園に向かって)います、捕獲しましょうか?」

予定のない不審な来客の時は、電話で確認の連絡をくれるのです。

教頭先生は、カマキリさんなら不審ではない、むしろ大歓迎なので、迎えに行きました。

教頭先生の手に乗って、幼稚園の玄関にあつという間にたどり着いたカマキリさんは、玄関の「ジャックと豆の木」の壁飾りにつかまって、ほっとしていました。それにしても、守衛の三浦さんは、カマキリさんの来園も見逃さず知らせてくれるすごい人です!(笑)

そう言えば、来園の際の「IDカード」や車両の入構証を忘れる方が増えているように感じました。池田小事件以来の正門での入構チェック。あの事件当時、私は大分大学附属小の教員でした。しかも改築前で、大阪教育大池田小と全く同じ間取りの北校舎一階が教室でした。もし、あの事件がここで起きたなら・・・私は子どもたちの命を守れただろうか?と背筋が凍り付いたことを覚えています。それ以来、日本中の学校で、校門の施錠や不審者が入つた場合の避難訓練が始まりました。

守衛さんがなぜ厳しくチェックして下さるのかを今一度考え、大事な我が子の「命を守る」大切な「ルール」であることを忘れないでください。ね!宜しくお願ひします。二度と再びあのような事件が起こらぬように、私たちにできることをキッチリと!ですね。

